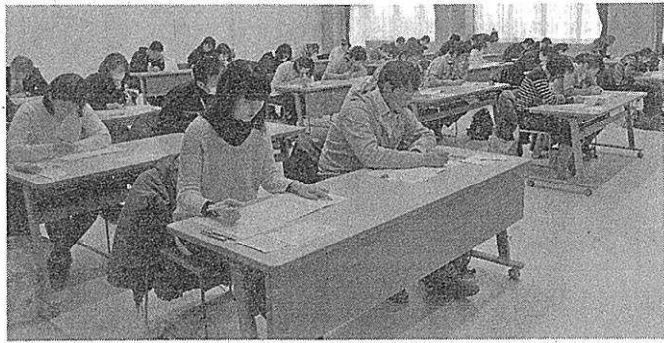


# 職員教育や資質向上

## J Aグループ 4倍の767人挑戦

### 農協観光 農業検定に1300人



日本農業検定2級試験に挑むJ A東京あおばの職員ら（東京都練馬区で）

4倍になった。神奈川県にJ Aセシヤ川崎は245人が申し込んだ。

J A東京あおばは17日に東京都練馬区の石神井支店で実施、支店長ら68人が受験した。J Aは「どの業務でも知識は必要。これをきっかけにさ

らに勉強し、得た知識を日頃の業務に生かしてほしい」と期待する。

J A総務課の上甲彩加さんは、農作物の栽培の流れや、農家の気持ちを

少しでも理解したいと2級に挑戦した。入組5年で総務一筋だが、「将来

的には営農も担当したい」と抱負を語る。

この他、学校関係では昨年と同じ七つの中学校が受験し、受験者数は21人増えて77人となった。

農業高校、大学も昨年と同様に1校ずつ参加している。また、体験農園を運営している会社が指導員に2級を受験させた

戦したりしている。昨年の試験の3級合格率は93%。今回の試験結果は2月末に発表す

## 「心の健康」重視 元気な職場へ全職員研修

【滋賀・こうか】J Aこうかは、生産性向上や活力あるJ Aづくりに取り組もうとJ Aホールで全職員集会を開き、各事業部門の重点取り組み発表や、産業カウンセラーを講師にメンタルヘルス（心の健康）を学んだ。

全職員集会には役員308人が参加。メンタルヘルスでは、産業カウンセラーで心理相談員の小出民雄氏が「メンタルヘルス・マネジメント」を声かけと傾聴で元気な職場をつくる」と題し講演。小出氏は「メンタルヘルス対策は働く人の心の健康を維持し企業・組織の生産性を高める活動」

2、3級とも、小中学校の新学期指導要領に準拠している。試験は栽培や環境、食に関する知識などを問う内容で、級によって難易度が異なる。受験者数は2級が621人、3級が722人。「J Aに対しては内定者団体、767人で昨年の

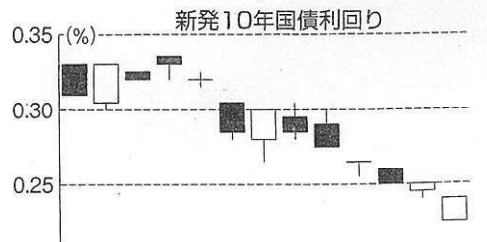
## 世界&日本 Weekly 金融市場

先週はスイス中央銀行のスイスフランの介入上限撤廃等を受けて円高、株安の流れとなり、日本の長期金利は過去最低水準を更新した。

今週は国内で、20、21日に日銀金融政策決定会合が開催され、展望レポートの中間評価が公表される。2015年度の政府経済見通しでは、消費者物価指数は前

## 世界経済見通

銀が目標とする2%への到達は厳しいとの見方が示された。会合後の会見で黒田日銀総裁が物価目標の達成に對しどう言及するか注目したい。海外では、20日に国際通貨基金（IMF）の世界経済見通し改訂版が公表される。世界経済の減速があらためて指摘されるのが注目される。



作りこんでいく教室を開き、川越地域の女性部員16人が参加した。部員はコンニャク芋の皮むきから、煮る、混ぜるなどの工程を体験し、「分らないことが意外にあって勉強になった」と話した。J Aの「武蔵野食文化推進者」は、「武蔵野の良き食文化を絶やさないように」と、食文化の伝承者らを登録した制度。各種イベントなどに参加して地域住

民と交 品置言 村沢 北部地 労働 収量の さまざ が、今 組んで、 (キユ